

ラウンドA  
第 対戦室

\_\_\_\_\_大学(レッド) = \_\_\_\_\_大学(ブルー)

ラウンドA  
レッド  
大学名

審査員氏名: \_\_\_\_\_ 大学

大項目	小項目	審査のポイント	得点
A. 準備書面	(1) 説得力	各論点について、関係する事実や法文等根拠が適切に示されているか。論理的で説得力ある主張がなされているか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
	(2) 表現、見易さ、構成	正確でわかりやすい表現が用いられているか。読みやすく、見やすい工夫がなされているか。全体の構成は適切か。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
B. 口頭弁論	(3) 論点1	主張すべき事実、法律論を適時に、かつ、明確に主張したか。全体として説得力のあるものであったか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
	(4) 論点2	主張すべき事実、法律論を適時に、かつ、明確に主張したか。全体として説得力のあるものであったか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
	(5) 事実関係	事実関係についての正確な理解がなされていたか。事実に関するデータが適切に調査し、使用されていたか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
	(6) 準拠法と法律論	ユニドロア原則が適切に解釈され、援用されていたか。法律構成・解釈に無理はなかったか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
C. 冒頭陳述・最終弁論	(7)	冒頭陳述は全体としての主張が理解できる効果的なものであったか。最終弁論は審理の内容を踏まえた効果的なものであったか。時間を有効に使ったか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
D. 発表、発言・態度	(8)	明瞭で自信を持った発言をしていたか。過度にあわてたり感情的になったりすることはなかったか。言葉遣いや振る舞いは仲裁に臨む代理人として相応しいものであったか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
E. 仲裁人との関係	(9)	相手方ではなく仲裁人を説得しようとしていたか。仲裁人の質問には的確に答えられていたか。仲裁人の指示を正確に理解していたか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優
F. チームワーク	(10)	チーム全員が適切に役割分担していたか。特定の個人のみが突出したり、あまり貢献しない人はいなかったか。	1 2 3 4 5 不可 可 良 優 特優

<審査基準>

- 5評価:非常に優れている。(特に優秀)
- 4評価:優れている。(優)
- 3評価:普通。(良)
- 2評価:やや物足りない。(可)
- 1評価:非常に物足りない。(不可)

<審査にあたっての留意事項>

- ①評価は絶対評価とします。
- ②得点欄の該当部分に分かりやすく(縦線を囲むように)○をつけてください。0. 5点単位で中間値を用いても差し支えありません。合計を計算する必要はありません。
- ③評価にあたっては、チームの構成(学部生主体か大学院生主体か)も踏まえ、チームのパフォーマンスが審査員の通常期待するレベルであれば3、それ以上のレベルには4、極めて優れたレベルであった場合には5、やや物足りない場合には2、非常に物足りなければ1をつけてください。繰返しになりますが「3 良」が普通の出来、いわば審査のホームポジション(基準ライン)です。チームに社会人経験のある学生がいる場合には、通常期待するレベルを高くして下さい。
- ④審査は個々の審査員が独立で行いますが、正確と公平を期するために、審査票を提出される前に得点についての意見交換を行ってください。